

# 兵庫の林業

2017. 1 No. 279



(写真：竣工式(神事、施設見学会))

## もくじ

- △新春を迎えて▽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- △知事新春メッセージ▽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 平成28年度秋の叙勲受章者・林業賞受賞者・・・・・・・・ 3
- 兵庫県立森林大学校第一期生の募集・・・・・・・・・・ 4
- 地域環境保全功労者表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 木材振興功績者表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 苗畑品評会表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ひょうご森づくり活動賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 朝来市における木質バイオマス事業の操業開始・・・・・・・・ 6
- △技術シリーズ▽
- 兵庫県高海拔地域におけるセンダンの成長とシカ被害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- △普及だより▽
- 淡路地域の緑の少年団活動の展開・・・・・・・・・・・・ 9
- △森林ボランティア活動▽
- NPO法人あいな里山茅葺同人・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 林業就業支援講習を開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 祝 兵庫県林業作業士認定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 兵庫の巨樹・巨木(20) (裏表紙)
- 題字・・・・・・・・ 兵庫県知事 井戸敏三氏

### 表紙の写真

平成28年12月2日、バイオマスエネルギー(be)材供給センター(兵庫県森連)並びに朝来バイオマス発電所(㈱関電エネルギーソリューション)の竣工式が、百名を超える関係者の出席のもと、盛大に開催されました。

竣工式に先立ち神事が執り行われ、次いでそれぞれの施設の見学会が実施されました。

竣工式では、兵庫県荒木副知事をはじめ多くのご来賓から、お祝いと激励の言葉をいただき、兵庫県の山を健全に守っていくため、本事業が如何に大切かを再確認する機会となりました。



一般社団法人 兵庫県林業会議会長  
兵庫県森林組合連合会代表理事会長  
林業・木材製造業労働災害防止協会  
兵庫県支部長

石堂 則本

## 新春を迎えて

新年明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、当団体の運営につきまして格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年、森林に対するニーズが多様化し、特に国土の保全や水源涵養機能の高度発揮に期待が高まっています。森林は手入れをしないと荒れるので、近年、集中豪雨や台風の頻度・強度が高まる中、森林の土砂流出防止機能も一層高めていく必要があります。

本県では、平成18年度から進めている「災害に強い森づくり」が第3期に継続され、事業規模の確保とともに事業メニューも拡充されました。間伐事業も国庫補助が不足傾向にあります。県と市町補助金を合算すると補助率100パーセントで実施できるように積極的に取り組んでいただき効果を上げています。しかしながら、我が国の林業は依然とし

て低迷しており、戦後植えてきた人工林1千万ヘクタールのスギ・ヒノキ人工林の森林資源が活用しきれっていません。これをフル活用していくことが、林業界の大きな課題です。

このため、近年各地で技術開発や需要開拓が進められています。本県においても県森連、兵庫みどり公社、関西電力グループが連携し、県や朝来市のご支援をいただきながら生野工業団地で整備してきた「朝来バイオマス発電所」と「バイオマスエネルギー（be）材供給センター」が、平成28年12月1日に稼働しました。この施設の稼働で、年間7万t、赤穂市など既存の施設とともに毎年12万t以上の燃料チップが必要になり、未利用木材の大きな需要が生まれます。

もうひとつは、「農林水産ビジョン2025」において「木材の有効利用と森林保全・再生」の柱の一つとなっているCLT（直交集成板）活用による新たな取組が上げられます。本県の林業関係団体の多くが入居してい

る「兵庫県林業会館」は、平成7年1月に発

生した「阪神・淡路大震災」により被災したため、部分的に外壁や床の修復を行ってまいりましたが、雨漏りなど老朽化が著しく、業務に支障をきたしている状況です。

そこで、林業関係団体が連携し、高い寸法安定性や優れた耐震性、断熱性、遮音性を兼ね備え、大規模な木造建築が可能なCLT活用による地上5階建ての実証建築物として、会館建替え工事を計画しています。

従来工法との建設コスト比較や断熱性能、調湿性等の省エネ、省CO<sub>2</sub>に資する定量的な評価も行う予定ですが、新林業会館が実現すれば、防火地域において床も含めた主要構造部にCLTを利用する日本初の建物となることから、都市部での新たな木材需要の広告塔として、大きな効果が期待できます。

最後になりましたが、「兵庫の林業」をご覧いただく皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



平成二十九年新春メッセージ

## 兵庫の未来を切り拓く

兵庫県知事

井戸 敏三

新年あけましておめでとうございます。

近年の世界協調の流れが、今年、大きく変わる可能性があります。特にアメリカの新体制の動きやイギリスのEU離脱交渉、原油等資源価格の動向、これらに伴う為替の不安定化などが懸念されます。先行きの不透明感が高まる中、いかなる情勢の変化にも対応できるように、足元を固めなければなりません。

国内では、少子高齢化に対応した社会システムの構築が待ったなしの課題です。日本全体の活力を低下させる東京一極集中にも歯止めをかける必要があります。

人口が減少し、少子高齢化が進もうとも、安定し、活力を保ち続ける地域を創っていかねばなりません。地域創生の取組を軌道に乗せていくことが今年の県政の大きな課題です。

第一は、安全安心の確保。福祉、医療の更なる充実により、二〇二五年問題に挑み、安心して暮らし続けられる地域を創りましょう。

防災・減災対策を着実に推進し、来るべき災害への備えに万全を期しましょう。

第二は、県民の活躍促進。高齢者、障害者、女性、若者などすべての県民が能力を発揮できる環境を整えるとともに、教育の質を高め、ふるさと人材の確保を進めましょう。

第三は、産業の活力増進。更なる企業集積に取り組み、新事業展開や起業を後押ししましょう。また、農林水産業を成長産業と位置づけ、イノベーションを興しましょう。

第四は、交流の拡大。交流人口の増加で地域に賑わいを生み出しましょう。兵庫五国の多様な資源に磨きをかけ、国内外から人が集う地域を創りましょう。

一八六八年の兵庫県発足から一五〇年の節目の年が近づいてきました。

今こそ、これまでの兵庫の歩みを振り返り、次の一步の足がかりとなる新たなビジョンを描くときです。そして、県民の皆さんの夢と地域への思いを結集し、兵庫の未来を切り拓く。さあ、新しい地域づくりのステージへ、ともに一步を踏み出しましょう。

ふるさとの発展めざす地域づくり

一人ひとりの決意に依らん

平成二十八年度

秋の叙勲受章者

旭日双光章

上田 棟次郎氏

元兵庫県木材業協同組合連合会副会長



主なご功績

昭和40年に家業を継ぐため柏原町の製材所に入社、平成8年に代表取締役社長となり、同業者等からの厚い信頼をもとにリーダーとして地域木材業界を牽引してこられました。平成5年に氷上郡木材産協同組合の理事に就任され、以来今日まで、県立丹波年輪の里で一般消費者に端材を廉価で販売する「木木市」の企画・運営に中心となって携わり、ともに、地域材を利用した公共施設の木造化を推進し、地域材の需要拡大と組合の活性化に尽力されています。平成18年から8年にわたり兵庫県木材業協同組合連合会の副会長を務め、県の重点施策である「県産木材利用木造住宅特別融資制度」による木造住宅の普及に力を注ぎ、県の木材産業の振興に大きく貢献されました。

平成二十八年度

林業賞受賞者の皆様

兵庫県林務課

西脇市黒田庄町

岡原 重一氏

主なご功績

「優れた原木しいたけ生産技術の確立と生産技術の普及に対する貢献」

岡原重一氏は昭和49年から原木しいたけ栽培に携わり、先進地視察や研究を重ね、きめ細かな原木の水分管理や温度調整、種菌の選択など栽培技術を確立したほか、新規生産者に対して懇切丁寧な栽培技術を伝授し、その優れた指導力により地域の原木しいたけの生産振興に貢献されました。



神崎郡市川町上牛尾

山好会

主なご功績

「優れた育林技術の普及と地域の林業振興への貢献」

山好会は昭和51年から優良材生産と林業技術の向上を目指し、間伐や枝打ちなど保育作業を計画的に実施するとともに、実際に柱材として製材し検証を行い、品質、強度に優れた製品となることを実証し優れた育林技術の普及を行うとともに、地域の共有林や財産区有林などの森林整備活動において育林技術を指導するなど、地域の林業振興に貢献されました。



美方郡香美町村尾区

村岡林業研究グループ

主なご功績

「優良材生産の実践と後継者育成及び地域の林業振興への貢献」

村岡林業研究グループは、昭和46年から長年にわたり間伐等の保育作業を計画的に実施し、優良材生産を実践するとともに、地域の森林整備活動の指導に努めるなど、後継者の育成に貢献するほか、新たに地域の特産品として特用林産物（山椒）の優良苗木の生産体制を構築するなど地域の林業振興に貢献されました。



兵庫県立森林大学校  
第一期生の募集について

本年4月兵庫県に開校する県立森林大学校では、学生募集のための一般入学試験（第2回）を次のとおり予定しています。

■受験資格／高等学校卒業又は同等程度で、平成29年4月1日現在40歳以下の方

■募集定員／若干名

■試験日／平成29年2月10日(金)

■試験会場／兵庫県中央労働センター（神戸市中央区）

■願書受付期間／平成29年1月12日(木)～1月25日(水)

■郵送の場合は簡易書留（当日消印有効）

■ただし、第一回試験の結果により、実施しない場合があります。詳細は左記または県HPでご確認ください。

■問合せ・願書提出先／

兵庫県環境部農林水産局林務課  
TEL 0783623603

森林大学校

検索

地域環境保全功労者

環境大臣表彰

西川 義丈氏

一般社団法人兵庫県猟友会

会長



主なご功績

平成16年10月から兵庫県猟友会の理事、副会長、会長を歴任され、約12年にわたり、同会役員として、組織の育成強化と円滑な運営、狩猟事故防止講習会や安全狩猟射撃研修会の開催など安全な狩猟活動の実践に尽力されています。

また、平成22年度から県が進めるシカ捕獲強化の目標（年間3万頭、25年度から3万5千頭）達成及び、イノシシ捕獲推進に組織をあげて取り組み、卓越した統率力を発揮されています。

平成25年度には、姫路市にシカ肉処理加工施設を整備し、シカ肉の有効活用に尽力されています。さらに、シカ肉・皮の加工について、障害者自立支援を目的とした就労支援施設への協力など、障害者の自立支援にも貢献されています。

第51回全国木材産業振興大会における協同組合事業等功績者表彰

林野庁長官感謝状

宮崎 良夫氏

兵庫県木材業協同組合連合会理事



主なご功績

平成7年に神戸木材協同組合の理事として、平成24年からは同副理事長に就任するとともに神戸木材仲買協同組合理事長を歴任されるなど、県下最大の地域木協で歴史のある神戸地区の木材業界の振興に尽力されています。

さらに、平成24年から兵庫県木材業協同組合連合会の理事として、また、全国木材市売買方連盟の理事として、県域のみならず全国の木材業界発展と木材利用の推進において大きく貢献されています。

理事は、近年、業界において木材の在庫を圧縮する傾向がある中、神戸地域の中では、群を抜いて在庫量を豊富に揃え、得意先の要望に応えられています。また、かねてより懸案であった神戸地区の木材関係組合の体制強化策として、神戸木材協同組合と神戸木材仲買協同組合の合併にあたって、具体

全国木材協同組合連合会長賞

中塚 一裕氏

姫路木材協同組合理事長



主なご功績

平成10年から姫路木材協同組合の理事、副理事長に就任、平成24年から同組合の理事長、平成16年からは姫路木材市場協同組合の理事長を歴任されるとともに、姫路木材港港栄協合理事を務められるなど歴史ある姫路の木材業界の振興に尽力されています。

また、平成24年からは兵庫県木材業協同組合連合会の若手の理事（副会長）として県内木材業界の振興と木材利用の推進、人材の育成等、特に、県立ものづくり大学「ものづくり体験館」の開設にあたっては木造住宅の担い手育成の研修用教材として「木造住宅の実寸大部分模型」を寄贈するなど担い手の育成にも貢献されています。

## 苗畑品評会表彰

兵庫県主催のもと、平成27年度県営樹苗養成事業苗畑品評会が開催され、県内の苗木生産者の中から、次の生産者が知事賞を受賞されました。

### 知事賞

池本 大三氏（淡路市）



スギ・ヒノキを主体に苗木生産を67年続けてこれ、県内の模範となる生産者として、また、他の生産者の指導にも精力的に取り組まれています。

苗畑は、水田稲作との隔年利用による肥えた土壌づくりを行い、根茎の充実したバラスの良い苗木生産をしています。

また、松くい虫に抵抗性を示す「ひょうご元気マツ」やコナラ等広葉樹苗木の生産にいち早く取組むなど、県の林業並びに災害に強い森づくりに多大な貢献をされました。

## ひょうご森づくり活動賞授与

（公社）兵庫県緑化推進協会

「ひょうご森づくり活動賞」は、「県民総参加の森づくり」に貢献した優れた団体等を表彰することにより、広く県民の森づくり活動への参加意識の高揚を図り、さらに市民活動の輪を広げる事を目的として、平成23年度に創設しました。

11月6日（日）に三熊山洲本城跡周辺（洲本市）で開催された「ひょうご森のまつり2016」において、会長である井戸知事から表彰楯が授与されました。



### 神戸学園都市高塚山を愛する会（神戸市） 会長 内藤 富夫

活動地の高塚山と長坂ヒロコバ丘は、眺望の良いハイキングコースで知られた里山でしたが、ニュータウン開発によりハイキング道は分断、フェンスが張り巡らされ利用できなくなっていました。

平成20年「高塚山の森を歩こう会」を発足させ、自然環境保全、健康づくりや憩いの場として、ハイキングコース復活整備活動を始

めました。その1年後には「学園都市高塚山を愛する会」に改名し、現在では、ハイキング道の整備、ヒロコバ千本桜の丘づくり、森づくり体験会、森のコンサート等を行っています。今後も森を育て、森を活かし、森を楽しむ活動を通して、この森を未来に引き継いでいきたいと思います。



### あびき湿原保存会（加西市） 会長 山下 公明

あびき湿原は、加西市の重要な生態系に選ばれた湧水湿原です。その貧栄養で特異な環境下には、富栄養性の高茎草本植物は侵入できず、低茎草本植物を中心とした湧水湿原特有の植物が生育します。また、湿原にしか見られない昆虫も生育しています。

湿原の保全作業は、平成25年から始まり、11月3月の間、草木が種を落とし休眠している間に一部腰まで泥のある湿原の草木の皆伐、持ち出しを毎年行います。保存会メンバーの有識者の指導

## 朝来市における木質バイオマス事業の操業開始

兵庫県林務課

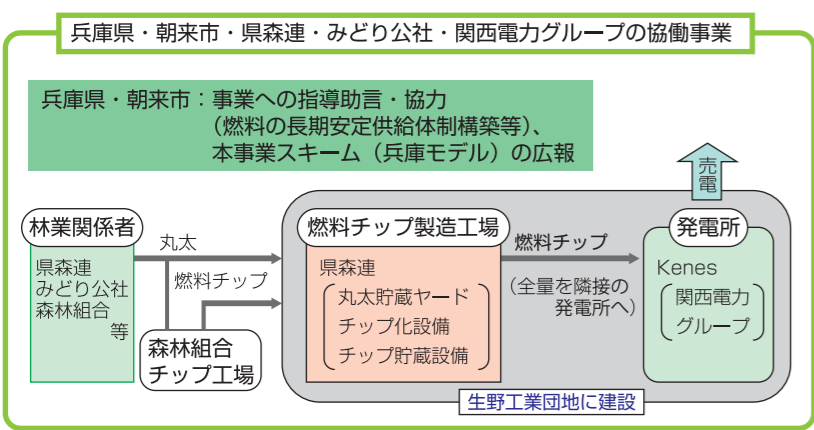
一 はじめに  
兵庫県では人工林の成熟化が進む中で、「伐採、利用、植栽、保育」の林業生産サイクルが円滑に循環し、森林の多面的機能を持続的に発揮させる「資源循環型林業」の構築をめざしています。

この一貫として、木質バイオマスのエネルギー利用も進めており、これまで利用されず林内に放置されていた未利用木材の活用により、木材価格の下支えになるとともに、森林所有者に新たな収入が生まれるなど、林業経営の安定化につながると期待しています。

### 二 事業概要

朝来市における木質バイオマス事業計画は、林業の再生や地域経済の活性化、再生可能エネルギーの普及・拡大を図ることを目的として、平成25年12月に県森連、みどり公社、関西電力、兵庫県、朝来市の5者が協定を結んで進めてきました。

事業計画では、未利用木材の搬出から燃料チップの製造及び発電までを一連の事業として官民協働



で推進することにより、森林所有者から発電事業者まですべての関係者が利益を共有しようとする「兵庫モデル」としての構築をめざしてきました。

平成28年12月1日の発電所の営業運転開始により、未利用木材の搬出から発電までの一連の事業が操業を開始しました。

### 三 事業の特徴

- ・未利用木材を燃料とする木質バイオマス発電システム
- ・木材供給側と発電側が協働で計画を推進
- ・燃料は、発電所に隣接するbe材供給センターが管理し、全量を発電所へ供給
- ・未利用木材は20年間、一定量を固定価格で取引

### 四 燃料用未利用木材の安定供給

県森連が県内の林業事業者と連携して「兵庫県be材等供給協議会」を設立し、未利用木材の安定供給に向けて取り組んでいます。未利用木材の収集運搬コストの縮減のため、関係者間で情報を共有できる「兵庫県森連be材SCMシステム」の構築を図っています。

### 五 おわりに

県内の新たな木質バイオマス発電燃料用の需要の増加などに伴い、平成30年の原木生産量の目標は、43万m<sup>3</sup>をめざしています。今後も建築用から燃料用までの原木を効率的かつ安定的に供給するための基盤整備等を推進するとともに、建築用材等の新たな木材

で「生物にやさしく見学者には見やすく」をモットーに作業を進めています。地元を中心に近隣の市町から同好者を加えて50数名で活動中です。



### 特定非営利活動法人鮎屋の滝ふれあいの郷「森林保全の会」(洲本市) 理事長 小嶋 勝治

洲本市鮎屋にある森林が活動地です。会員は26名で、鮎屋町内会のみならず、雑草木の刈払い等、森林環境の整備と遊歩道の整備を基本とし、再生可能エネルギーによる地域元気づくり等様々な活動を行っています。

また、年に一度、次世代を担う小学生や地域住民に対して環境保全と農業水利施設等地域資源への理解を深める為「再発見探訪ウォーク」を実施しています。今後も活動を長く続けていけるよう地域住民の方と一体となって取り組んでいきたいと考えています。



需要の開拓等により、県産木材の利用促進を図っていきます。



◆be材供給センター	
建設・運営箇所	兵庫県森林組合連合会
敷地面積	約2.8ha
木材貯蔵量	約2万t
チップ製造能力	約30t/h
チップ貯蔵量	約600t

◆朝来バイオマス発電所	
建設・運営箇所	㈱関西電力エネルギーソリューション
発電出力	5,600kW
敷地面積	約0.7ha
売電電力量	約3,700万kWh (一般家庭約12,000世帯の年間電気使用量に相当)
CO2排出削減量	約18,000t
燃料	be材燃料チップ 約6.3万t/年

一、はじめに

スギ、ヒノキ針葉樹中心であったこれまでの林業に加えて、関西地区では早生広葉樹林業が注目されつつあります。これは①天然優良木の枯渇や天然林保護などによって東南アジアからの原木輸出が急激に減少し、1990年代後半から広葉樹原料が不足している。

②熊本県では1980年代後半に早生樹林業研究として広葉樹を中心とした52樹種の植栽試験が実施され、その結果、センダン(Melia azedarach)が芽かき作業により伐期20年以下で直径50cm以上の通直な原木丸太が生産できる可能性が見出されたことが主な理由です。しかし、兵庫県で植栽する際、温暖な地域を適地とするセンダンが高海拔で冷涼な場所では生育するか、およびシカ被害の検討が必要です。そこで、兵庫県内の高海拔でシカ密度の高い林地にセンダンを植栽し、その成長状況とシカ被害について調査しました。

二、調査

一般的なセンダンの樹形を図1に、30年生で胸高直径80cmになった丸太を図2に示します。横に枝葉を伸ばしながら成長することと肥大のはやさがうかがえます。

熊本県から取り寄せた苗木を県内に植栽しました。植栽地は宍粟市波賀町上野で、海拔約700m、シカ密度は一平方キロメートルあたり数十頭です。リゾート施設「フォレストステイション波賀」駐車場に隣接するなどらかな斜面で、ススキが群生していました。波賀町の年平均気温は約13℃、年平均降水量は約1800mmで、冬季には積雪があります。2015年4月25日に約200本植栽し、そのうちの20本について、樹高と地際径の成長量をほぼ1ヶ月ごと夏期の成長が止まるまで測定しました。植栽時には1本あたり250gの化学肥料(1B肥料)を施用しました。

三、生育状況

植栽が4月25日と遅かったため、6月には調査木の半数が枯れましたが、7月には全数萌芽しました(図3)。そのため7月における地際径の平均値は減少しています(図4)。したがって、植栽が4月を過ぎる場合は、ポット苗の方が望ましいと考えられます。

7月から10月にかけては、シカに葉を食べられることはなく、シカ不嗜好性がうかがえ、樹高100cm以上の成長がみられ(図5)、温暖地域と大差ありませんでした。しかし、10月以降、シカ角こすり(マーキング)により折損するもの(図6)が多数あり、みかけの樹高成長が減少しました(図4)。他地域での自生木の半径方向強度分布を測定すると、髄付近の曲げ強度は小さく(図7)幼齢期は折れやすいためと考えられました。10月で成長が止まり、芽かきの必要がなくなると植栽木を筒網等で囲う必要があります。また、積雪が2016年1月25日にありました(積雪深約50mm)。しかし、葉を落としていたため折損は見られませんでした。



図5 8月の状況

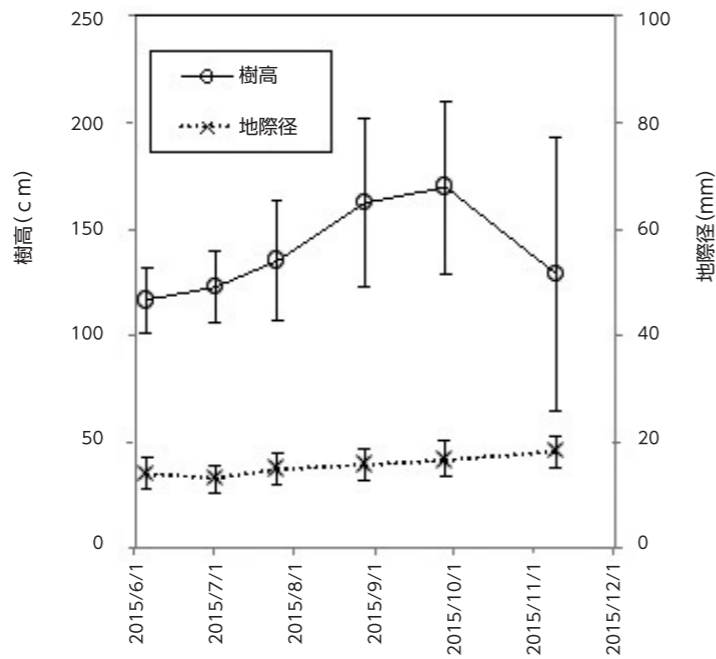


図4 樹高および地際径の成長

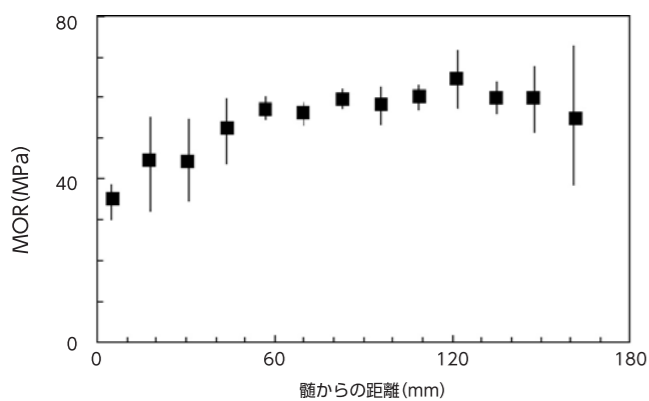


図7 曲げ破壊係数の半径方向分布



図6 シカマーキングによる折損

四 判明した留意点

- ① 植栽時期(4月以降)が遅いとポット苗の植栽が望ましい。
- ② この植栽地において、葉はシカ不嗜好性であった。
- ③ 葉を落とす10月以降はシカ角こすり(マーキング)による折損が多いため、筒網等で囲う必要がある。
- ④ 雪による折損はみられなかった。

付記 耕作放棄地への植栽

2015年4月29日に宍粟市山崎町梯の耕作放棄地(約0.3ha)に約150本植栽しました。約6ヶ月ほどで樹高3mを超えるものもあり、旺盛な成長を見せています。しかし、これも葉のシカ被害はありませんでしたが10月末以降剥皮害があり、頭を悩ましているところです。2016年5月に発表された林野庁の森林林業基本計画には荒廃農地への早生樹植栽がうたわれており、宍粟市の植栽は全国的にも注目されています。(本内容は第66回日本木材学会大会 於名古屋 2016年で発表しました)



図1 一般的なセンダンの樹形 熊本県



図2 センダン材 30年生 胸高直径80cm 気比の松原



図3 6月の枯れ

### 淡路地域の「緑の少年団活動」の展開について

淡路県民局 洲本農林水産振興事務所

#### 一 はじめに

当管内には、二十団の「緑の少年団」が、活発に活動しています。特に今年度は、洲本市で開催された「ひょうご森のまつり2016」において、少年団の宣誓などで、大きな役割を担いました。「緑の少年団」について、「ひょうご森のまつり2016」での活動など、その取組を紹介します。

#### 二 管内の緑の少年団について

「緑の少年団」は、県下では、一五五団、七千六百人、当管内には、二十団、八七四人が活動しています。地域での活動として、校内花壇づくり、木工体験、自然観察、清掃活動などを行っています。当事務所では、それらの活動を支援・指導しています。森のまつりが開催されることから、積極的に結成を呼びかけ、過去三年間に五団の少年団を設立することが出来ました。

#### 三 指導者研修会について

森のまつりのイベントとして、八月九日に淡路市多賀の県立淡路文化会館において、「緑の少年団連盟指導者研修会」が開催されました。少年団の指導者研修と併せて、少年団の交流集会も実施しました。



竹取の翁による少年団指導

当管内からは三団三七名の少年団と十一名の指導者が参加しました。少年団は、竹細工教室と森林観察会に参加し、竹細工教室は、

「あわじ島竹取物語シニアサポーター」（竹取の翁・たけとりのおきな）に指導をお願いしました。暑い中でしたが、子ども達は、楽しく一日を過ごしました。



少年団の宣誓

#### 四 森のまつりについて

十一月六日には、洲本市三熊山洲本城跡周辺において、約三千人の参加者を得て、「ひょうご森のまつり2016」が盛大に開催されました。当日は好天に恵まれ、開会からフィナーレの餅まきまで、会場は盛り上がっていました。

そんな中、当管内からは、四団、二十一名の少年団が参加しました。まず、式典では、全員がステージに上がり、力強く宣誓を行いました。また、知事と市長による記念



緑の募金活動

植樹では、代表の二人が植樹を手伝いました。さらに、全ての少年団が、里山林整備体験、緑の募金活動に参加しました。

#### 五 おわりに

森のまつりに参加した少年団の子ども達は、「普段出来ないことが体験できて楽しかった。」と満足げでした。また、引率した先生や保護者の方々からも、参加して本当によかったという声が多く聞かれました。

### 森林ボランティア活動

#### NPO法人あいな里山茅葺同人

代表 星島 明

神戸市東灘区の甲南女子大学ふれあいの森を活動拠点に活動し、会員数は16名で60才以上が殆どです。団体名称の由来は「国営あいな里山公園」で平成16年に行われた茅葺講座の受講生が集まってスタートしたことによりですが、多くのメンバーが入れ替わっているのが現状です。

活動目標は里山景観の保全と生物多様性の復元を図り、子ども達が群れて遊び、心身の健全化を促進できる場づくりの具体化です。

当該地は樹齢が30年以上にわたって放置されたアベマキが主体の2.5haの落葉樹林で、六甲山麓の傾斜地で林相整備を7年間続けてきた結果、兵庫県の絶滅危惧植物のCランクに指定のオケラの生育を確認しています。

また、大学生と共催で地域交流イベントを開き、春と秋にはキノコの



ツリーハウス

栽培と収穫体験や夏休みの里山遊びと炊飯行事会を通して身近な自然に親しむ機会を作っています。

現時点の最大の課題として、活動範囲に占めているナラ類のカシナガによる大量枯死が発生しており、敷地内にあるツリーハウスを支えるホストツリーは奇跡的に免れていますが、その防策とナラ枯れ被害の拡大についての取組みが挙げられます。社会構造の変化に伴う結果でナラ類の高齢大径木化が進んだことが原因の一つではないかと言われております。

健全木には殺菌剤の注入、粘着剤を併用してカシナガの穿入防止を図り、被害木は関係機関と連携をとりながら、我々に出来る範囲で伐倒燻蒸または粘着シートによるカシナガの捕獲を図る事などを考えています。ふれあいの森づくりと限られた期間内のナラ枯れ対策にとってマンパワーがネックとなりますが、創造力豊かな人生のベテランの団結力で今までと同様に乗り切りたいです。

HP biopark.asia/kayabuki/

### 『林業就業支援講習』を開催

(公財)兵庫県営林緑化労働基金

#### 【1日講習】

開催日 10月1日  
受講者 県内8名  
講習の内容  
・高性能林業機械による素材生産の作業現場、製材工場、木材市場の見学



木材市場の見学  
(丹波林産振興センター)



作業道整備の实地講習  
(姫路市安富町)

当基金では、林業への就職希望者が、就職するために必要な知識や資格を身につけるため、林業への円滑な就業を支援する「林業就業支援講習」を実施しています。

今年度は「12日間講習」と「1日講習」を開催しました。

【12日間講習】  
開催日 10月11日～26日  
受講者 県内5名、県外1名  
講習の内容  
・林業に関する基礎知識  
・林業労働安全衛生講習  
・普通救命講習  
・チェーンソー等の特別講習  
・林業作業の实地講習  
・施設見学、就業相談

終了後の受講生アンケートでは講義でも現場でも懇切丁寧に教えていただいていた、林業の仕事のことがよく理解できた、すぐにでも林業に就職したい等の意見が多く寄せられています。

本講習にご協力をいただきました講師、指導員、林業事業者などの皆様方に心よりお礼申し上げます。

**国土防災技術株式会社**  
 URL=http://www.jce.co.jp/

《調査/コンサルタント業務》  
 △地質調査業、建設コンサルタント、測量業、環境省指定調査機関  
 《建設工事》  
 △特定建設業：とび・土工工事、土工工事、さく井工事  
 △一般建設業：電気通信工事、造園工事

神戸支店：〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2丁目1-30三宮国際ビル  
 TEL (078) 221-2213(代) FAX (078) 221-2611  
 但馬事業所：〒667-0043 養父市八鹿町高柳字岸の下137-4  
 TEL (079) 662-7108 FAX (079) 662-7496  
 洲本事業所：〒656-0023 洲本市小路谷字古茂江1282-66  
 TEL (0799) 24-5243

土と水と緑の  
 技術で社会に貢献します。  
 JAPAN CONSERVATION ENGINEERS & CO., LTD.

**住化グリーン**の林業薬剤

<b>松枯れ予防剤</b> ヤシマモリエートマイクロカプセル マツグリーン液剤2	<b>ヤマビル資材</b> マリックスター (ヤマビル駆除剤) ヒルノック・エコ (ヤマビル忌避剤)	<b>瞬間殺蜂スプレー</b> ハチノックL (蜂巣退治用) ハチノックS (蜂撃退携帯用)
<b>竹駆除薬剤</b> クロレートS	<b>くん蒸剤</b> ヤシマNCS	<b>樹幹注入剤</b> 打ち込み上手
<b>松枯れ少量樹幹注入剤</b> マッケンジー	<b>生分解性シート</b> くん蒸与作シート	

**住化グリーン株式会社**  
 本社 東京都中央区日本橋小網町1番8号  
 大阪営業所：大阪市淀川区西中島7-1-26  
 TEL：06-6886-0241/FAX：06-6886-0242

**エムシー緑化**の林業用薬剤

ススキ ササ地に 松枯防止樹幹注入剤

**フレノック** 粒剤10 **マツガード**

発売元 **正和商事株式会社**  
 大阪市中央区道修町1丁目3番4号 〒541-0045  
 TEL 06 (6203) 4541 FAX 06 (6203) 4347

**山も健康あなたも健康**  
 日本産原木しいたけ栽培を応援します。

一般財団法人  
**日本きのこセンター**

本部 鳥取市富安1丁目84番地 電話 0857-22-6161 (代表)  
 鳥取事務所 電話 0857-51-8132  
 鳥取市古郡家211 FAX 0857-51-8133

ジャンボ椎茸 菌興 115

「兵庫県林業作業士」は、単に「林業の現場で必要な資格や免許をたくさん持っている人」ではありません。単に「若いなりにベテラン並みのテクニックを持っている人」でもありません。一言で言えば「現場における林業の専門家として兵庫県が認めた人」ということとなります。

そのため、林業作業士になるためには、県内の森林資源の概況(「自分の働き場はどこにどれだけあるのか?」)とか、間伐木の選木(「たくさんある中でどの木を伐ればいいのか?」)や間伐率(「何本伐るのが適切なのか?」)、高性能林業機械の特性(「自分が所属する作業班で効果的に使うには?」)、CLTやバイオマスなど木材の新たな用途(「自分の伐採した木がどう使われていくのか?」)、かかり木処理(「安全な処理の仕方の実践?」)等々、テキストに基づいて先ず学問的な理屈や法令規則を学び、それらに裏打ちされた作業技術・技能を「現地で確認する」そして「身につけ

る」ための実習や先進事例の視察調査など、延べ260時間、50日間に及ぶ中身の濃い研修を受けていただく必要があります。

今回、この研修を修了するとともに国の指定する各種の資格・免許を取得し、晴れて「兵庫県林業作業士」の認定を受けられたのは次の8名の方々です。

- 株式会社西村 \*西村 嶺
- 株式会社西村 \*西村 唯
- 中はりま森林組合\*鶴野義富美
- 愛林興業株式会社\*古市 宏樹
- 株式会社知福木材\*三辻 正俊
- 有限会社カミカワ興産\*森本匠
- 小林林産 \*小林 亮
- 北但西部森林組合\*下前 仁美

トピックとしては、今回、初めて「女性」林業作業士が一挙に二名誕生しました。たいへん喜ばしく思います。

いずれの方も忙しい現場を抱える身で、仕事と両立させながら二年間の学習を続けられました。心から敬意を表したいと思います。

**祝 兵庫県林業作業士**  
 (公財)兵庫県営林緑化労働基金 (林業労働力確保支援センター)  
 新たに8名を認定!

「兵庫県林業作業士」の認定制度は平成三年度に始まり、当財団が平成九年に「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づいて「兵庫県林業労働力確保支援センター」の指定を受けて以来、県から制度の運営を引き継いで実施しています。

今回、認定を受けた8名の方には、やがては作業班長となり、地域林業の担い手として最大限に技量を発揮されることを、さらに後進の指導者として技術の向上、継承のため、益々精進・研鑽を積まれるよう期待してやみません。そしてもちろん生活の糧、安定した収入のため健康・安全の確保を万全にして、日々頑張ってください。

今回、認定を受けた8名の方には、やがては作業班長となり、地域林業の担い手として最大限に技量を発揮されることを、さらに後進の指導者として技術の向上、継承のため、益々精進・研鑽を積まれるよう期待してやみません。そしてもちろん生活の糧、安定した収入のため健康・安全の確保を万全にして、日々頑張ってください。

新たに認定された林業作業士の皆さん

**株式会社 グリーン興産**

士・木・緑・そして人  
 とりもどそう 人にやさしい環境

〒671-4141 兵庫県宍粟市一宮町東河内1003  
 Tel 0790(72)1553 Fax 0790(72)2327  
 URL http://www.greenkousan.co.jp  
 E-mail: info@greenkousan.co.jp

みどりの集い.com あなたと共に未来へ続く森林づくり

**Husqvarna**  
550XP-JP/XPG-JP

レッドトッド・デザイン賞2013  
ベスト・オブ・ベスト受賞製品



AutoTune

■排気量：50.1cm<sup>3</sup>  
■出力：2.8KW ■質量：4.9/5.1kg(XPG)

**本当の価値が分かる方へ!**  
安全と作業効率を追求し続けるハスクバーナは、プロが認めるチェーンソーの最高峰です。革新的な技術を融合し、これまで以上のパワーでさらなる軽量化に成功した500シリーズをぜひお試しください。

**愛林興業株式会社**  
本社 姫路市飾磨区恵美酒294-3 TEL (079) 234-8181(代)  
神崎店 神崎郡神河町吉富1409-2 TEL (0790) 32-0570番  
但馬店 養父市上野1357 TEL (079) 664-2101番

**“治山・林道測量”** は経験と実績のある  
株式会社 **石原測量コンサルタント**

国土交通省登録第24891号  
県知事許可(般-27)第461481号

本社 兵庫県宍粟市山崎町 船元250-1  
Tel (0790) 63-1377  
Fax (0790) 63-1398  
営業所 兵庫県姫路市夢前町苅野1078-3  
Tel (079) 336-1418



**堤名板・林道名板と  
森林土木事業の各種標識類の製作・販売**

**株式会社 林土連研究社**  
代表取締役 岡田恒夫

本社 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3永田町ビル6階  
TEL03-3580-0907 FAX03-3504-1687  
川口支店 〒332-0002 埼玉県川口市弥平3-2-24  
TEL048-222-7211 FAX048-222-1914



**ふるさとの木「兵庫県産木材」おすすめします**  
当連合会では、公共施設や公共土木の工事等で使用される兵庫県産木材の証明、兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度の申請に必要な県産木材（ひょうご県産認証木材製品）使用住宅証明書の発行を行っています。兵庫県産木材は、当連合会に設置している県産木材供給部会の部会員が積極的に供給しております。詳しくは、当連合会のホームページをご覧ください。  
**兵庫県木材業協同組合連合会**  
〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号  
Tel : 078-371-0607 Fax : 078-371-7662 URL : http://www1.odn.ne.jp/hyogomokuren/

**自己流で使っていませんか?**  
刈払機の安全講習のご案内  
講習を受けて、正しい使い方を学びましょう!  
**刈払機取扱作業安全衛生教育**  
H29. 1.27 (予定) 三木山森林公園 (三木市)  
**林業・木材製造業労働災害防止協会 兵庫県支部**

**緑の募金事業成果発表会のご案内**  
緑の募金の意義や重要性について県民や企業等の皆さんの理解を深めていただき、募金の取り組みを広げることを目指して事業成果発表会を開催します。

◆プログラム◆  
13:00 開会  
13:05~ 緑の募金感謝状贈呈  
13:20~ 基調講演  
講師 平田 富士男 氏 (兵庫県立大学大学院教授)  
13:50~ 各団体成果発表 (計6団体)  
15:05~ パネルディスカッション  
コーディネーター 服部 保 氏 (兵庫県立大学名誉教授)  
15:45~ 講評 上羽 慶市 氏 (神戸学院大学客員教授)  
16:00 閉会

●日 時 ● 平成29年2月4日(土) 13:00~  
●場 所 ● 神戸市産業振興センター 神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号  
●主 催 ● 公益社団法人兵庫県緑化推進協会  
●後 援 ● 兵庫県  
●定 員 ● 100名(先着順) ※申し込み多数により参加いただけない場合のみご連絡します。  
●費 用 ● 無料  
●締 切 ● 平成29年1月27日(金) 必着  
●申込方法 ● 参加申込書(HPよりダウンロードください) に必要事項を記入の上、郵送又はFAXにてお送りください。

**公益社団法人 兵庫県緑化推進協会**  
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18  
TEL 078 (341) 4070 FAX 078 (341) 4071  
URL : http://www.hyogo-green.net/

**私たちは、緑を育て、緑を守っています。**

〒650-0012  
神戸市中央区北長狭通 5-5-18  
兵庫県森林組合連合会  
TEL : 078-341-5082  
FAX : 078-341-6936  
E-mail : hyogomori@hyogomori.jp  
HP : http://www.hyogomori.jp/



**緑を育み水をつくる水源林造成事業**  
法令改正により、旧・独立行政法人森林総合研究所は、平成27年4月1日から国立研究開発法人森林総合研究所に名称変更しました。  
国立研究開発法人森林総合研究所  
森林整備センター近畿北陸整備局  
神戸水源林整備事務所 TEL(078)371-2411 FAX(078)371-2413  
兵庫県水源林造林協議会 TEL(078)371-2446  
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号



森林を守り育て、地域の安全・安心を確保する**治山事業**。  
美しい森林、豊かな緑を確保する**林道事業、造林事業、松くい虫防除事業**。

**一般社団法人 兵庫県治山林道協会**  
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18  
TEL:078-371-0210 FAX:078-371-6632  
HP http://www.chisanrindou.jp





# 兵庫の巨樹・巨木 (20)

近年の巨樹・巨木の墓石を追う①

今回は『ひょうごの巨樹・巨木 100選』（全国育樹祭兵庫大会記念誌）2005にその勇姿を掲載した巨樹の中で、残念にも枯死とか倒壊、倒伐にあった死を悼む記事・その①とします。生命あるものの当然の宿命とは言え、人力による保全の空しさも感じざるを得ません。

## ① 一二(ホイ)峠のブナ(倒壊死)

香美町村岡区と小代区を結ぶ地方道の峠にあり、村岡藩の大名であった山名氏の墓所もあることで知られる。山名氏が住民の無難を祈って植えられたとも言われるブナであった。大雪で二本立ちの一本が倒れ、続いてその年の台風で全壊した悲運な臨終であった。



雪の重さに負けた倒壊後の姿

## ② 稲葉川のゴゴメヤナギ(倒伐)

円山川合流地点前の河岸に生育していた県下最大であった柳である。台風24号の史上最大級の激流で水面から9m上にドラム缶が引っかけた。河川改修はやむを得ないが、樹種状況は移植の計らいが欲しかった。消した命は二度とは戻らない悲運な樹であった。



## ③ 名色のイロハモミジ(薬剤死)

日高町の墓地に勇姿を誇っていた県下最大の巨樹も毎年の除草剤には勝てなかった。老婦の墓掃除は葉に頼らざるを得なかった。史前から親しまれ続けてきた巨樹の悲運は誰も攻めることのできない例だ。残念！



枝先からの枯死が痛々しい

## ④ 香住のクロマツ(虫害枯死)



香住のクロマツ

## ⑤ 河野辺のヤマザクラ(倒壊死)



河野辺のヤマザクラ

## ⑥ 蔵垣のシラカシ(虫害枯死)

## ⑦ 小城のイタヤカエデ(倒壊死)

## ⑧ 東河小学校のセンダン(老衰死)

## ⑨ 別宮のコナラ(倒伐)

今回は但馬に限りました。各地に関わりを持ってきた巨木の枯死・倒壊等の情報をお寄せ下さい。

樹木医

樹木医

樹木医

橋本光政

宮田和男

塩見晋一